

事業所名：児童デイサービスのぞみ上甲子園



作成年月日：2024年11月25日

営業時間：9時～18時

送迎実施の有無：送迎あり

# 事業所理念

私たちは「憩いの場」を世の中に提供する企業です。

その場所・空間で人生を豊かにする

出逢い=きっかけを創り

誰もが笑顔で過ごせる地域創りに貢献します。


# 支援方針

## ①憩いの場を提供

憩いの場とは、ホッと出来る場所であり、一人ひとりが自分らしくいられる場、人との出逢いがあり、温かく明るい場、そしてまた行きたいと思える場です。そういった場を提供していきます。

## ②自立に向けて支援

自立とは、自己決定・意思決定が出来る事であり、生きる力をつけ日常生活を送る事であり、人との繋がりをもち、相手に自分の意思や思いを伝えられること、そして将来に向けて働く力をつける事です。そのような自立に向けての支援を行います。



本人支援内容  
5 領域

## 健康の増進

- ・ 基本的な生活リズム(食事、排泄など)を身につけるための声掛けや促し、見守りを行います
- ・ 外から帰ってきた時の手洗いやうがい、またトイレの後の手洗いの習慣をつけ、清潔に衛生面を保てるよう支援します
- ・ 集団で楽しく食事を取れる雰囲気作りを大切にしながら、誤嚥などの事故を防ぐための見守りをを行い、毎日、口の体操をして嚥下機能を向上出来るようにします
- ・ プログラムの中でストレッチを行い、姿勢保持や怪我の防止に繋がっていきます



## 健康状態の把握

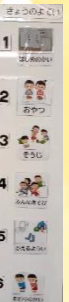
体調の変化を視覚的に把握するため必要に応じて検温や SpO2 の測定を実施します



# 健康・生活

## 構造化等による生活環境を整える

当日のスケジュールをイラストと文字で視覚的に把握しやすいよう提示し、はじめの会でも全体でスケジュールを確認することによって見通しを持って過ごせるようにします



## 基本的な生活スキルの獲得

- ・ 来所時の身辺整理(靴や鞄を片づける、靴下を脱ぐなど)や帰宅前の身支度を自身で出来るように見守り、児童の発達段階に応じて必要なサポートをします
- ・ 当番活動(机ふき、掃除など)や遊びの後の片付けを通して、身の回りの出来る事が増えるようにします
- ・ クッキングやおやつ作りを行い、食への関心を高めたり、工程を学んでいけるようにします



## 自身の身体を知り活用する

ラジオ体操、ストレッチ、ダンス、タオル体操等を通して、身体を動かしながら自身の身体を把握出来るようにしていきます



## 姿勢保持・体幹強化・筋力維持

- ・はじめの会や終わりの会、食事などの時に椅子や床の上で正しい姿勢で座れるよう指導したり、机拭きや机運び、雑巾がけなどの当番活動を通して体幹強化や筋力維持に繋がっていきます
- ・みんな遊び(転がしドッチ、風船バレー、しっぽ取り、相撲など)など楽しみながら、身体を動かせるように支援します
- ・バランスボールやトランポリンを使い、自身の身体感覚を知っていきけるようにします

## 運動・感覚

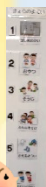
## 感覚認知

- ・感触遊び(片栗粉遊び、ボディペインティングなど)を通して、楽しみながら様々な感触に触れる機会を提供します
- ・ボタンの付け外しファスナーの開け閉めなど日常生活に必要な指先の動きを練習します、また洗い物やゴミ拾いなど、活動を通して手先の様々な動きに繋がっていきます
- ・声の大きさの調節を声の大きさ表を見ながら視覚的にも分かりやすくまた共通認識を持ちながら自身で調節出来るように練習します



## 知覚から行動への認知過程の発達

- ・1日のスケジュールを確認し、その日の予定を把握出来るようにします
- ・来所時に決まった場所に鞆を置く、また出した物を片付ける事を通して、物の適切な置き場所を把握し、整理整頓出来るように支援します
- ・当番活動を通して、自身のやる事を把握し実践出来るようにします
- ・クッキングやおやつ作りの中で色々な工程を知り、実践していきます



## 感覚や認知の活用

野外活動(見学、外食、公共機関の利用等)を通して外部環境を適切に認知し、適切な行動(ルールを守る等)をしていけるように支援します



# 認知・行動

## 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成

次の活動へ移行する前に時間のアナウンスをしたり、タイマーを使い視覚的に時間を意識しやすいようにし、自身で時間を把握して行動に移せるようにします



## 数量、大小、色等の認知、理解

- ・工作の制作や個別課題を通して、数量、大小、色などの認知、理解を深めていきます
- ・数の把握(買い物体験やおやつ時での金額確認、クッキング時の計量、集団遊びの中で数を数える等)が出来るように支援します



## 認知の偏りへの対応

クッキングやおやつ作りで様々な食事を作りながら偏食の軽減に繋がっていきます



## 言語の形成と活用

- ・口の体操を行い、スムーズな発語や発声の練習に繋がります
- ・当番活動(はじめの会、いただきます等)を通してみんなの前で言葉を発する機会を提供します
- ・ひらがなカードや文字パズルを使い言葉と文字を繋げていきます



## 読み書き能力の向上のための支援

宿題やカレンダー作り、読書、個別課題等で読み書きの練習をします



# 言語

# コミュニケーション

## コミュニケーションツールの活用

- ・絵カードでスケジュールの提示や要求する物を指すボードを掲示する等、視覚的にわかりやすいツールを活用します
- ・絵カードで絵合わせをします



## 人との相互作用による コミュニケーション能力の獲得

- ・来所や帰宅時の挨拶、場面ごとに必要な挨拶の習慣をもてるようにします
- ・集団遊びを通して友だちとのコミュニケーションを持つ
- ・SST(ソーシャルスキルトレーニング)でシチュエーションに応じたやり取りができるように練習します



## 受容言語と表出言語の支援

- ・お誕生日会で自身の気持ちをみんなの前で発表する場を持ちます
- ・絵本の読み聞かせてで内容を理解しイメージを持てるようにします





## 社会性を身に付ける支援

- ・ 集団遊びの中で色々なルールを知る、学ぶ機会を作ります
- ・ 野外活動(電車での移動、工場見学、ゴミ拾い、施設利用等)を通して社会のルールを学んでいけるようにします
- ・ クッキング、おやつ作り等の集団での活動の中で協調性を身に付けていけるようにします



## 自己の理解とコントロールのための支援

- ・ 性教育を通して正しい知識を学び、身体の大切さを知るとともに、自身の守り方を身に付け、相手を大切にすることを育てていきます
- ・ サイコロゲームで相手に尋ねる習慣や適切な距離感を学んでいけるようにします
- ・ 当番活動を通して自身の出来る事、出来ない事、また自身の特徴を把握し、自己をコントロールして役割を果たせるように支援していきます



# 人間関係 社会性

## 他者との関わりの形成

- ・ 友だち、異年齢、職員など様々な人との関わりが広がるようにします
- ・ 集団の中で自身の居場所を作っていけるようにします
- ・ 他施設合同のイベントを開催し集団の繋がりを広げていきます
- ・ 挨拶をする習慣を身につけられるようにします
- ・ 約束やルールを守る大切さを知り、実践出来るようにします
- ・ 人との適切な距離感を学んでいけるようにします
- ・ 地域イベントに参加して地域とのつながりを広げていきます



## 模倣行動の支援

集団生活を通して、周りの人の動きを模倣し生活スキルを身につけていけるようにします



## 家族支援

- ・6カ月毎の定期的な面談を行い、こどもの発達や成長、また困りごとに関する相談支援を行います
- ・電話やライン、HUGなど、様々なツールを活用し情報共有や相談を受けます
- ・送迎時にその日の出来事等を伝え情報共有をします
- ・SNS(インスタグラム等)で、日頃の活動を公開し情報を発信します
- ・内外でのセミナー研修を告知し、情報提供します

## 移行支援

- ・支援会議で家庭や学校、併行利用している事業所等と、子どもに関する情報共有や支援目標、支援内容を話し合い、一貫した支援を行っていきます
- ・就学する際の関係者会議で子どもに関する情報を引き継いだり、相談支援事業所やショートステイ先等、関係機関と情報共有をし、連携して支援を行います
- ・卒業後の進路や生活の相談に乗ったり、情報提供を行います
- ・地域のイベントに参加したり、地域の公共施設を利用し、地域との関わりを広げていきます

## 地域支援・地域連携

- ・西宮市自立支援協議会の子ども部会に参加しています
- ・児童が利用する相談支援事業所と定期的に連携をはかり、他の障害児通所支援事業所等とも必要に応じて連携をはかっていきます

## 職員の質の向上に資する取組

- ・虐待防止に関する研修、災害に関する研修、感染症に関する研修、安全計画に関する研修を定期的に行っています
- ・市内の研修会(事例検討会等)へ参加しています
- ・必要な資格を取得するための研修への参加を支援しています

## 主な行事

- ・季節毎の行事を行っています(例：節分、ひな祭り、ハロウィン、クリスマス等)
- ・いちご狩りや芋掘りなど季節を感じれる体験行事を提供しています
- ・お誕生日会を行っています